

〇〇市立〇〇中学校 第2学年 美術科 学習指導案

平成18年〇月〇日 (〇)
第4校時 美術室
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 題材名『良い絵って何だろう』～表現の今までとこれから～

2 題材について

(1) 題材設定の理由

周囲を気にせず感じたまま素直に表現できる小学生と他を認められ自分の意見をもてるようになる高校生との間にある中学生は、社会との共通理解を様々な体験を通して学ばねばならない最後の時期にある。美術の表現活動では「きれいに表したい、認められたい。」という欲求が本来の自己表現したいという気持ちを押さえてしまう傾向があり、どうしても慎重な表現になりがちである。この時期に美術を嫌いになる生徒が増えてしまうのも、こうした傾向が原因のひとつとして考えられる。美術を愛好する心情を育てるためには、この時期ある程度の方向性を示すとともに、自分の気持ちや感じ方を確認し、安心して表現および鑑賞の活動に取りくめるきっかけが必要である。そこで小学生、高校生の身近でありながらも接する機会の少ない作品を鑑賞し、印象だけでは分からない違いや共通点を探したり小学生の制作意図、高校生の感じ方など異校種を含めた幅広い意見を参考にしながら作品のよさや美しさ、感じ方を考えることで自らの活動をふり返り、自己の表現や感じ方の良いところに気付いたり、確認して安心したりして感性を磨き、様々な個性を認められる資質を養いたい。また、表現活動と鑑賞は相互に関係し、影響し合っている。自分の表現に可能性を見出し、意欲的に表現活動に取り組むことによって創造活動の喜びも味わわせたい。

(2) 題材の目標

- 作者の思いや感じ方、見え方の違いを感じ、味わう。【関心・意欲・態度】
- 小学生、高校生の作品それぞれのよさや美しさを味わうことができる。【鑑賞の能力】
- 表現の工夫や技法の使われ方に気づくことができる。【鑑賞の能力】
- 表現することに対して考えを深めたり意欲を高めることができる。【鑑賞の能力】

(3) 指導計画(2時間扱い)

鑑賞	2 h	・ 小学生の作品を鑑賞し、視点を考えながらよさや美しさを見出す ・ 小学生の作品のよい点、美しい点などを発表し、表現について考える。
----	-----	--

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

- 作品や作者の感じ方に関心をもち、感性を働かせてよさや美しさを感じとろうとしている【関】
- 与えられた視点に沿って良さや美しさに気づき、感じ取る。【鑑】
- 表現について考える機会をもち、表現活動への意欲を高める。【鑑】

(2) 準備

教師：小・高校生の作品 模造紙 マーカー 付箋紙(3色) ワークシート

生徒：教科書 資料集 筆記用具

(3) 展開

学習過程	学習内容・活動	指導上の留意点	主な評価の視点 【評価規準】
導入	作品と出会う ○作品と作者を知る。 ○作品をみた感想を紹介する。	・作品と作者（小学生）が収録されたビデオをみせる。 ・小学生の作品をみた高校生の感想を紹介し、様々な見かた、感じ方があることに気付かせる。	・作品や作者、他者の意見に関心をもつことができたか。 【関】 発言・態度
展開	作品の鑑賞Ⅰ ○具体的な視点を確認し、グループで鑑賞して模造紙にまとめる。	・以下の3つの視点を与え、学習の進め方を理解させる。	・感性を働かせて、よさや美しさを感じ取ろうとしている。 【関】 発言・態度
	〔グループ活動の流れ〕 □以下の視点で気付いた、感じたことを3色のカードに各自で記入。 赤： 作者の伝えたいことは何か。 青： どんな技法がどのような効果を出しているか。 黄： 作品のもつ雰囲気はどう感じたか。 □ 記入したカードを模造紙に貼り付け、必要があればマーカーで記入する。 □ グループで気付いたこと、感じたことについて話し合いながら題名を考え、模造紙に記入する。		
	○ グループごとに発表する。 ○ 作者の意図を知る。 作品の鑑賞Ⅱ ○ 導入で感想を紹介した高校生の作品をみる。	・作品を掲示し、代表者に発表させる。 ・作者（小学生）のコメントが収録されたビデオをみせる。 ・新たに気付いた点や共感できる点について発問する。 ・高校生の作品の中にも小学生の作品のよさや美しさが生かされていることに気づかせる。	・3つの視点について理解し、良さや美しさに気づき、感じ取ることができたか。 【鑑】 発表・発表用紙・発問
まとめ	表現について考える ○活動をふり返る。 ○良い絵について考える。	・2種類の作品をみて気付いたことや感じたことをワークシートに記入させる。 ・今後の表現活動に対する意欲や生かしていきたいことを考えさせる。	・表現について考える機会をもち、表現することへの意欲をもつことができたか。 【鑑】 ワークシート

4 生徒の感想

(1) 今回の授業で学んだこと

- ・ 小学生はあまり深く考えて描いていないと思うけど、わたしたちぐらいになると小学生の絵についてより深く意味を考えるようになっていた。
- ・ そっくりに描くのもいいけど、少し形を変えたりして、こうしたいとかこうしてみようとか思うのもいい
- ・ 小学生の絵は今の私と違って、最後まで一生懸命描こうという気持ちが伝わってくる。
- ・ 感じたまま描くことが大切だと思いました。
- ・ ただ写して描いていたけど小学生の絵はいろいろな色を使っていてとてもカラフルだった。
- ・ 画用紙いっぱい描いている
- ・ そのものを描くこともいいけど感じたものを描くのもいいと思った。
- ・ 小学生の絵の中には見たまま、感じたままに描いた純粋さが残っていると思う。そのような絵の描き方は子どもだけにできる描き方だと思うので見習っていきたい。
- ・ 年を重ねるごとに感じ方が変わってくるのだなと思った。
- ・ 深く考えずに見たままを伝えようとして描くことでその人の個性が出た絵になると知った。
- ・ 上手とはいえない絵でも作者が見ている雰囲気が伝わってきたのがすごいなと思った。作者が見たものをそのまま伝えようとしているからかな・・・。
- ・ 私も絵を描くときには、紙いっぱいに色をたくさん使って見たままのものを表現できるようにがんばりたいと思った。

(2) 「良い絵って何だろう」

- ・ 見たままの絵じゃなくて自分の中で想像した絵
- ・ たくさんの色を使っている絵
- ・ 相手に気持ちの伝わる絵
- ・ 自分の思ったことがしっかり描けてる絵
- ・ かたい絵じゃなくて想像力を使っているような絵
- ・ 寂しくない絵
- ・ 自分の思い描くように絵を描いてその絵に気持ちが入っている絵
- ・ 人にみせて楽しい気分させる絵
- ・ 見たものをそのまま楽しく描くことだと思う。いろいろな色を使っていてその絵がはっきり伝わってくる。
- ・ 自分らしいタッチやみて感じたままを描いた絵の方がいいと思った。
- ・ 自分で良い絵だと思った絵が良い絵だと思う
- ・ そっくりそのまま描くことは個性や表現したいことが伝わりづらい。自分が描きたいこと、伝えたいこと、感じたことを自由に子どものような気持ちになって描くことが良い絵につながると思う。
- ・ 見ている人に作者の伝えたいことやどんな思いで描いているのか伝わる作品は「良い絵」だと思う。がんばって描いた、その人の個性が出ている作品も、とても良い絵だなと今回の学習で思った。



5 成果と課題

- 小中高の作品交流は興味・関心が高く、見方や感じ方について考える機会になった。
- 小学生の作品については視聴覚教材が作者を身近な存在に感じさせ、記憶や想像力を働かせて作者の立場に立って考えることができた。また、高校生の感想紹介は中学生が感想や意見をもつ上で具体的な例として大変参考になった。
- 発表用紙のグループ作成は作業が伴うことで話し合いの場としても自然で活発な意見交換をすることができた。
- 付箋紙や貼り付けが繰り返し行える接着剤の使用は発表用紙にまとめる際、手軽に固定し検討できるのでイメージを確認しやすく活動しやすい。また、活動時間の短縮にも効果的である。
- 視聴覚教材の準備や作品の運搬など小中高で連携をとって企画する必要があるとあり手軽に実施できる題材ではない。日ごろから交流を深め、協力や信頼関係を築いた上で実施時期を十分検討し効果的に学習できるよう配慮しなければならない。

6 感想

有名な作品や友達の作品を鑑賞する授業は行ってきたが、今回のような試みは初めてだった。有名な作品からは学ぶ点が多いが実際の表現活動に生かすには尺度が違いすぎる。また、友達の作品では作品の優劣が先行してしまったり、作者を知りすぎているため作者の思いなど純粹に作品から読み取ろうとするのは難しい。今回の小中高の作品交換はそのどちらにも属さないため生徒の反応にも新たな発見があった。

小学校の作品では絵の具の塗り残しやかすれ、にじみなどが意図的に行われていると判断し、塗り残しは水溜り、かすれはグラデーション、にじみは遠近法などと理由付けしながら議論していた。高校生の作品では大きさやデッサン力も当然だが何よりも多くの色が使われていることが印象的だったようだ。中学生は自分を表現することに臆病になる時期である。まとめようとする気持ちが強く、まとまらないが勢いのある小学生や表現力のある高校生の作品は、「良い作品」とはどのようなものか考える良い機会になった。

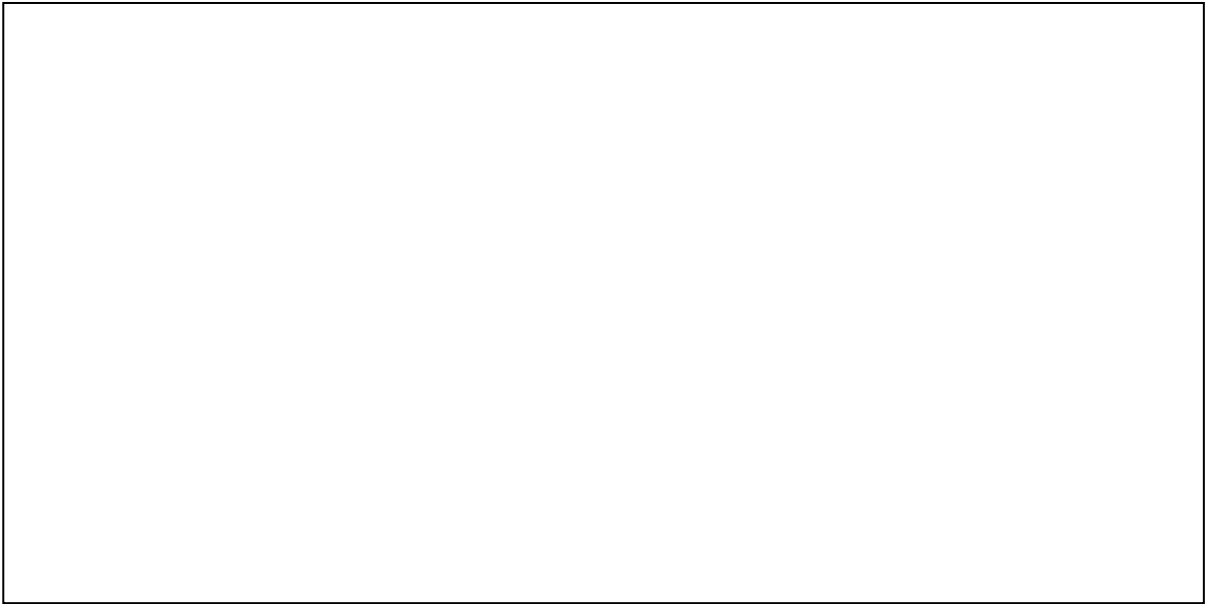
手間をかけた授業はやはり反応が良い。今回は作品交換もあり異校種間の連携が不可欠だが効果も高い。この機会に過去の鑑賞の授業を振り返ってみて、決して興味・関心が低いわけではないことに気付いた。視点や方法を変えることでさらに関心を高めるばかりでなく、表現活動にも意欲的に取り組むきっかけになると感じた。



「良い絵って何だろう」

- 1 ある生徒の感じ方
- 2 作品を鑑賞して発表しよう
赤) 作者は何を伝えようとしているのか
青) どんな技法が効果を出しているか
黄) 作品から感じる雰囲気

- 3 ()



- 4 「良い絵って何だろう」



年 組 番 氏名